教科目標

医療専門課程
臨床検査技師科（昼間３年制）

養成目的

臨床検査技師は医師の患者治療を支える大切な検査業務を担っている。変革される医療制度や国際化および情報化など、社会全体から客観的に業界を見据え、時代に適した人材へと自己研鑽を続け、社会貢献のできる医療人の養成を目指す。また、心ある患者対応と医療現場の運営にも提案・活躍し、医師と対等に話ができる人間性豊かな人材を養成することを目的とする。

教育目的（ミッション）

医学に必要な生体構造、生体防御の仕組み、病気のメカニズムと検査結果の変化などを修得する。実習中心のカリキュラムにより、現場で活躍できる技術や応用力を身につける。国家試験合格に必要な知識と考察力、また、社会人として必要な主体的な行動を身につけ、科学的論理的な思考力をもつとともに心と絆を大切にした人間性豊かな人材を養成する。

養成目標（到達目標）

本学科では実学教育として科学技術の革新に対応した遺伝子検査・画像検査・形態検査などの技術を取得し、かつ疾患に関する知識を学び、医師のよきパートナーとして的確な臨床支援のできる臨床検査技師を目指す。また、医療人として相互尊重を基盤としたマナー教育を行い、患者さんや医療従事者への配慮をもった人材を養成する。国際教育では英会話をネイティブに学び、海外研修を経て世界の医療と授業を経験し国際的素養をもたせることを目標とする。

取得目標資格

１．臨床検査技師（国家資格）
２．サービス接遇実務検定
３．中級バイオ技術者認定資格
４．危険物取扱者（国家資格）
５．ニュース時事能力検定
６．心電図検定

就職分野

病院の臨床検査部、専門クリニックの専門分野検査、婦人科の人工授精業務、臨床検査センター、健康診断業務、製薬会社や臨床検査薬メーカーの技術・学術部、臨床検査機器メーカーの学術部、遺伝子工学分野など。

職種

臨床検査技師、遺伝子技術者、バイオ技術研究職・学術職・製薬関連業務、治験コーディネーター、（食品や製薬などの）品質管理者など。

卒業後に取得可能な資格

臨床検査技師免許取得後、取得できる資格は次の通りである。

細胞検査士（国際細胞検査士）、臨床検査士（１級・２級）、超音波検査士、糖尿病療法指導士、心臓リハビリテーション指導士、認定臨床エンブリオロジスト、緊急臨床検査士、認定輸血検査技師、内視鏡技師、臨床工学技士など。